



発行：新潟市仏教会
責任者：河合正樹

お盆について (地元のお盆を事例として)

秋葉区 曹洞宗 広大寺
加藤 朝雄

1) 日本の年間二大宗教行事として、正月と盆が挙げられます。「お盆」は、先祖や子孫を我が家に迎えての、楽しい日々を過ごす行事です。嬉しくなって、「飲めや歌えや踊れや」を態度で示すのが、盆棚の設置・家族親戚揃っての食事・盆踊りへの参加・浴衣がけでの墓参等です。

2) 盆棚（精霊棚）は、「おしょうれんさま・精霊様」を祀る棚です。先祖の御霊は仏壇外に特別に作られた盆棚に安置され、盆の供養を受けます。真ん中にお位牌を置き、蝋燭・線香・華・水・御飯・ソーメンの他、水の子（さいの目に切った胡瓜・茄子）・果物・菓子・その他の珍味が沢山供えられます。真菰の敷物や蓮の葉等を使って、涼しさも演出されますね。また今では、仏壇の扉に竹竿を懸けて前に座卓を置くだけの、簡単な盆棚も増えてきました。

3) 茄子や胡瓜にマッチ棒4本を刺したものは、先祖様を乗せて送迎する馬や牛に見立てたものです。盆棚の周りに張られた縄に、小さな「野菜の実・果物の実・ホウズキ」等を吊るすのは、子孫繁栄祈願の為です。先祖を種とすれば、子孫は実。種が育って花を咲かせ、実を結び、実がまた種となるのです。素麺は、先祖から子孫への代々が、細くても長く続くようにという願いを表しています。盆棚には先祖への感謝・家門繁栄・子孫長久の祈りが一杯なのです。

4) 新潟地区では一か月遅れのお盆・8月13日迄にこの盆棚を作り、13日に墓参をして「精霊様」を盆棚にお迎えし、16日のお昼に供養した上で、お送りします。昔は灯籠流しをして、舟に乗せてお送りしたのですが、現今では川の汚染問題があり、供養に使った物と共にお焚きあげをして、天へお返すことが多いようです。また、14日から16日までの間に、お坊さんから読経してもらおう習慣がありますが、棚の前で読むから、これを棚経（たなぎょう）と言っています。

昔から伝わる年中行事の殆どは、今日、新暦の該当日に行われるようになりましたが、お盆だけは、旧暦で行われているか、一か月遅れで行われています。新暦7月では気候的に合わないし、夏休みの関係もあります。お盆の帰省ラッシュは8月です。

お供えの一例



水の子

洗った生米とさいの目に切ったナスとキュウリなどを混ぜ、蓮の葉やお皿に盛ります。

キュウリの馬とナスの牛

ご先祖さまをお迎えるための乗り物など諸説あります。またほおずきを飾るのは御霊を導く提灯に見立てたものといわれています。



季節の野菜・そうめんなど

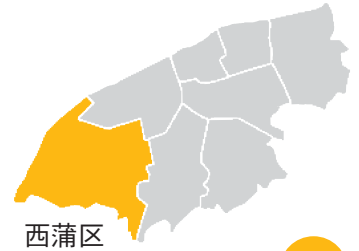
季節の野菜や果物、乾物のそうめんや昆布など。お団子や砂糖菓子をお供えする地域もあります。お盆ならではの支度をしましょう。

盆棚の一例



※並べ方等は地域や慣習によって異なります

シリーズ 市区八区



西蒲区の記事

フェスティバル

安穏25年

日蓮宗妙光寺 小川 英 爾

当寺では平成元年に『安穏廟』と称した永代供養墓を開設しました。今やこうした墓は全国に千ヶ所あるとも言われます。これが散骨、樹木葬など埋葬形態の多様化を、また葬儀の形まで変える流れを生み出す契機になりました。そして昨今は『終活』ブームです。

このような葬送の変化は核家族、少子高齢など家族の変化と、意識の消失といった社会的要因が背景にあります。お寺といえどもこうした状況に無縁ではいけない時代に直面しています。30年ほど前、全国の過疎地で寺が維持困難という実状を教団の研究員として調査しました。そのとき時代の変化を感じて、墓制度の改革を考え取り組んだのが『安穏廟』です。形だけ変えるのではなく、寺が人々の心の拠り所として活気を取り戻す一つのきっかけにしたいと考えました。

手始めに開設の翌年「合同供養と生前交流」を目的に、『フェスティバル安穏』を開催、これがNHKの全国放送等々で一気に認知されることとなりました。現在は若手檀信徒を中心に、100名以上のボランティアスタッフが企画運営され、毎年400人程が参加されます。

そこでは音楽も取り入れた参加型の法要が中心です。さらに生老病死の一貫したテーマで過去には新藤兼人、柳田邦男、山折哲雄各氏など多彩なゲストのお話を聞き、参加者が語り合います。



檀信徒参加の送り盆法要での散華

誰でも参加できますがさらに次世代にも幅を広げようと、大道芸にバザールも加えて送り盆の供養祭に進化しています。昨年(2014年)は160人による『妙光寺版・終活ノート』大編集会議を開きました。25年目の今年は8月30日、昨年の編集会議を基に完成した冊子で、それぞれの終活がテーマです。鈴木岩弓東北大学教授が「イエウキ時代の死者の行方」を語り、第一生命経済研究所の小谷みどり主任研究員と終活ブームの問題点を探ります。

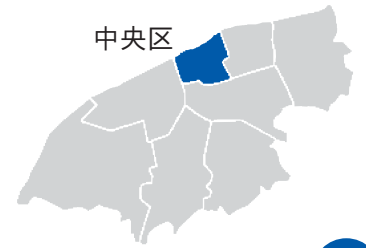


160人による終活ノート大編集会議



終活ノート大編集会議・壇上のゲスト編集員

シリーズ **市区八区**



中央区の記事

釈尊降誕会

「花まつり」

新潟寺町 花まつり奉讃会

会長 法雲院 田村 憲 吾

本年四月十五日(火)快晴、西堀通八、勝楽寺様に於きまして、釈尊降誕花まつり大法要が執り行なわれました。

昨年度は、仏教会合併による事務処理が多少遅れ、寺院出座のみの法要と成りました。

本年は、旧新潟仏教会一班より六班の寺院による四十二カ寺で新たに「新潟寺町 花まつり奉讃会」と名称を変え、奉行する事と成りました。

当日は、前年までの四月八日を避け、保育園・幼稚園の事情を考慮に入れ、四月十五日の実施となりました。

その日は十五日に変更した事が功を奏し、桜満開の穏やかな日を迎える事が出来ました。会場勝楽寺本堂の寺院方、又旧大和デパート横の灌仏会場での寺院方合わせて四十名の僧侶、中央区西堀通七 中央幼稚園・中央区西堀通八 勝楽寺保育園・中央区西町 光華保育園・西区新通 新通保育園・中央区長嶺町 蒲原幼稚園の園児九十八名、先生方並びに関係者の御協力により日程を進める事が出来ました。

荘厳で厳肅なる法要を終え、古町九より古町七の灌仏会場まで、雅楽の演奏を先頭に僧侶、園児で白象を引き、おねりが終了致しました。

この釈尊降誕会は、仏教会で宗派問わずの行事であり、この時期各地区で催されるものです。見たり聞いたりされましたら、皆様も奮って御参加下さいます様、宜しく御願致します。



僧侶による読経(勝楽寺本堂)



釈尊誕生のお姿に甘茶をかける園児



白象を引く園児たちによるおねり

『新潟市に区が八区』あることと、仏教語にある『四苦八苦』をかけて、各区の記事を順番に紹介するコーナーです。

予告 第9回 市民のための仏教講座

新潟市仏教会では、隔年で「市民のための仏教講座」を開催しています。

今年度は、新潟市東区出身で、2009年に放送された直江兼続を主人公とするNHK大河ドラマ『天地人』の原作者としても知られる、作家の火坂 雅志（ひさか まさし）氏をお招きして、下記のように開催いたします。



- 1, 日 時 平成26年10月10日(金)
午後6時30分開演 8時30分終了予定
- 2, 会 場 県民会館 大ホール
- 3, 講 師 火坂 雅志（ひさか まさし）氏
- 4, 演 題 『仏教と戦国の武将たち』
- 5, 入場料 (前売り) 1,000円、(当日) 1,200円 全席自由
新潟市仏教会各寺院・県民会館チケットセンター・
文信堂書店各店、並びに主要な仏壇店・葬儀社など
で販売いたします。

1956年、新潟市生まれ。

早稲田大学卒業後、出版社勤務を経て1988年『花月秘奉行』で作家デビュー。上杉景勝の家臣、直江兼続の生涯を描いた『天地人』は、2007年第13回中山義秀文学賞を受賞し、2009年のNHK大河ドラマの原作となった。

『全宗』、『覇商の門』、『黒衣の宰相』、『虎の城』、『沢彦（たくげん）』、『臥竜の天』、『軍師の門』、『業政駈ける』、『真田三代』など著書多数。現在、日本経済新聞夕刊にて『天下 家康伝』を連載中

《編集後記》

本年もお盆がやって参りました。1年に1度ご先祖様が家に帰って来て家族と共に（3泊4日く2泊3日）古来より時を過ごすと言われております。お盆には故郷を離れた人達がこの頃は帰省ラッシュを避けて上手に故郷に帰ります。ところによっては新盆の7月13日から3日間など、最も多いのは8月13日からの月遅れ盆と称する間です。仏教での教えの中「すべての人々」と言う考え方は、なによりも大事な事柄です。よく用いる「一切衆生」と言う言葉がそれです。孟蘭盆の頃には生きとし生けるもの、浄土に赴いて「先祖」となった故人、さらに恵まれることのない人々が共に法華経の供養を受けるのです。生者と死者共に法華経を供養する、一切衆生の場といえましょう。孟蘭盆会の法要で読経する、僧侶の唱える経文から時折一切衆生の言葉が聞こえてきます。最近逝かれた親しき人、若くして志し半ばで亡くなられた人、経席の傍らに、そんな方の気配が感じます。毎日報道されるおびただしい事故死、人災、天災、親の身勝手からの小さな子供が無残に生命を奪われる悪い時代。そんな子供たちにどんな回向が捧げられようか、考えると悲しい。

（満日坊）

Q & A 『お墓が守れない！』

- Q 「私たちは一人っ子どうして結婚したため、いまは夫婦で二つのお墓を守っています。でも、こどもには、二つのお墓を守ってこれとはいえません。どうしたらよいのでしょうか。」
- A 「切ない話ですけれども、どちらかのお墓を撤去して、一つにまとめたらいかがでしょうか。また、そのお寺に永代供養墓があるなら、そこにお納めするという方法もあります。」
- Q 「二つの家のお墓を、一つにして問題ないものでしょうか。」
- A 「そのお寺の住職が承諾され、そのお寺の宗派に従って仏事をされるなら、問題はないでしょう。墓石に両家の家名を入れるという例もだんだん増えていますよ。」
- Q 「お聞きにくいのですが、費用はいくらぐらいかかるのでしょうか。」
- A 「それは墓石店に見積もってもらいましょう。そのほか、とくにお墓を撤去する側のお寺には、それなりの心遣いが必要だと思います。でも、まず、自分が改葬に出せる予算を率直に示して、お寺に相談してはいかがでしょうか。」